

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	原 卓史	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	日本近代文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本の文学、卒業論文、日本文学史、近現代文学専門演習、日本文学講義、日本文学講読
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）坂口安吾・太宰治などの研究	
（2）歴史・時代小説研究	
（3）カストリ雑誌研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6 〈論文〉「耽綺社のメディア戦略／メディアの耽綺社戦略 —『サンデー毎日』を中心に—」 （荒井真理亜・副田賢二・富永真樹・中村健編『戦前期週刊誌の文学と視覚表象 『サンデー毎日』の表現戦略』（文学通信 二〇二四年一月） 〈学会発表〉「長谷川伸「荒木又右衛門」論——小説・講談の受容をめぐる——」 （日本近代文学会関西支部秋季大会 二〇二四年一月一日 於甲南女子大学）	
R5 〈論文〉「白井喬二と報知新聞社—「富士に立つ影」と『大衆文芸』を中心に—」 （『尾道市立大学日本文学論叢』二〇二三年二月） 〈書評〉「大原祐治著『戯作者の命脈 坂口安吾の文学精神』」（『昭和文学研究』 二〇二三年九月）	
R4 〈共著〉安藤宏・大原祐治・十重田裕一責任編集『坂口安吾大事典』（勉誠出版 二〇二二年六月） ※編集委員の一人として参加 〈資料紹介〉「『大衆文芸（第一次）』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇二三年三月刊行予定） 〈事典〉「葉室麟」（『日本近代文学大事典』 Japan Knowledge Lib 二〇二二年四月執筆、 二〇二三年三月配信）	
R3以前の主な研究業績	
（1）〈単著〉『坂口安吾 歴史を探偵すること』（双文社出版 二〇一三年五月）	
（2）〈編集協力〉越前谷宏他編『田中英光事典』（三弥井書店 二〇一四年四月）	
（3）〈論文〉「安吾と飛騨—「夜長姫と耳男」への道程」（『坂口安吾研究』二〇一四年二月）	
（4）〈論文〉「坂口安吾「風と光と二十の私と」論—教室のなかの「私」／小説家になった「私」」 （『芸術至上主義文芸』二〇一四年一月）	
（5）〈論文〉「坂口安吾「墮落論」論—武士道をめぐって」（『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一六年二月）	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
所属学会：日本近代文学会、昭和文学会、芸術至上主義文芸学会、表現学会、文体論学会、坂口安吾研究会、 横光利一文学会、 役員等：坂口安吾研究会運営委員長（二〇一八年九月～現在に至る） 坂口安吾研究会編集委員（二〇二四年度） 日本近代文学会関西支部運営委員（二〇二三年三月～二〇二七年三月） 全国大学国語国文学会編集委員（二〇二四年六月～二〇二六年六月）	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
その他（ 大学説明会 ）	1 回
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入） 武田中学・高等学校にて大学説明を行った。	